園長だより　平成３０年１月号（20180119）

園長　平澤　正則

教師の言い分　　その１『ある雪の朝のこと』

　幼児教育はどうあるべきか，幼稚園教育はどうあるべきか，時々思い出してはいつの間にか消えている，そういう悩みをあえて皆さんの前に引っ張り出してみようかと思いました。私の個人的な思いではありますが，学校とはどういうところか義務教育とはどういうものかを知っていただくために![C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf]()小学校入学前の児童をもつ保護者の皆様などに話してきたことの一部を紹介しながら，これから時々書いていきたいと思います。

　第1回目は題して『ある雪の朝のこと』です。時は7年前の1月31日（火）に遡ります。

　その日，職員室でまず話題になったのは，今日子どもたちにグラウンドで遊ばせてよいものかということでした。通常，微妙な状況の時にこのような話になります。微妙とは…雪の量はほんの少しで，始業前にはすでに陽を浴びた部分は溶けてしまいグラウンドの半分には雪がない状態で，このままそこに立ち入ればグチャグチャになることは目に見える，雪も少なく雪遊びができるといえるほどの量がないという状況です。一般の大人はこんなことは話題にしないでしょうし，どうでも良いことで何をごちゃごちゃ…と思われる方もいるかもしれませんが，その時の職場ではＡ先生の意見とＢ先生の意見が出て，皆で短時間検討しました。

　Ａ先生…遊ばせない方が良い。

　　理由　・グラウンドがグチャグチャになってしまう。そうなると乾いた後の凸凹でつまづいたり，転んだりしやすくなる。…児童の安全及び学校に不都合

　　　　　・服やズボンなどが濡れたり汚れたりし，家庭での洗濯の手間がふえる。…保護者に不都合

　　　　　・濡れたり汚れたりしたら放っておけない。必ずといっていい程そういう子はいる。

…職員に不都合

　Ｂ先生…遊ばせて良い＝積極的には勧めないが望む児童には認める。

　　理由　・子どもたちには自然をそのまま楽しませたい。

　　　　　・服やズボンなど濡れたり汚れたりしないように工夫させることも勉強である。

　　　　　・服やズボンなど濡れたり汚れたりしても我慢させれば良い。程度にもよるが…

皆さんならどうしますか？　私はＢ先生の意見を採りました。それでいこうと皆で歩調を合わせました。職員が優先させるべきは，①子どもの可能性を見つけること，②子どもの自主性を伸ばすことです。子どもたちがやるべきは，①いろいろなことに挑戦すること，②自分のことは自分でする（決める，行う，責任をとる）ことです。

結果は予想通り，大多数はグチャグチャ状態を避けてくれましたし，服を汚した子もいました。付いた泥を落としながらなぜそうなったかを考えさせるのは私たちの仕事ですし，学校は先生と保護者が協力し合って子どもたちを成長させるところですので，その反省は保護者と共有する必要もあります。そのために，日常の些細なことにまで心配りすることが肝要です。いろいろな状況に際し，個への配慮をしながら，その都度全体の歩調を合わせながら進んでいく，というのが生活共同体では重要です。合わせるばかりが能ではありませんが，集団生活では避けて通れないことだと考えています。個の尊重と集団の秩序は永遠の課題です。小学校と幼稚園では事情は少し異なりますが，根底に流れる教育哲学は同じと考えます。